

揚州2022世界ハーフマラソン選手権大会代表選手選考要項

1. 編成方針

2022年ユージーン、2023年ブダペスト世界選手権、2024年パリオリンピックに向けての強化策として、日本代表選手として国際競技会の経験及び大きな舞台で実力を発揮できる力を養成することを目的とし、選手団を編成する。

2. 選考競技会

(1) 男子

- 1) 第75回香川丸亀国際ハーフマラソン大会 <2022年 2月6日(日):丸亀>
- 2) 第50回全日本実業団ハーフマラソン大会 <2022年 2月13日(日):山口>

(2) 女子

- 1) 第40回山陽女子ロードレース大会 <2021年12月19日(日):岡山>
- 2) 第50回全日本実業団ハーフマラソン大会 <2022年 2月13日(日):山口>

3. 選考基準

男女ともに、編成方針に則り、下記の優先順位で選考する。

- 1) 各選考競技会において、出場意思のある最上位の競技者(男女各2名ずつ選考)
- 2) 各選考競技会の上位者から、本大会での活躍が期待される競技者
- 3) 2021年度の競技成績から強化委員会が推薦し、本大会での活躍が期待される競技者

【補足】

新型コロナウイルス感染状況により、ロードレースの開催については不確定な要素があるため、選考競技会が中止または延期となった場合は、その時点で専務理事の承認を得て選考要項を変更する場合がある。

4. 種目及びエントリー枠

- (1) 種目: 男子ハーフマラソン、女子ハーフマラソン
- (2) エントリー: 各種目最大5名(団体戦は上位3名の得点)

5. 選考方法

編成方針及び選考基準に則り、強化委員会にて選考原案を作成し、専務理事の承認を経て決定する。

6. その他

- (1) 代表選手は、編成方針及び選考基準に則って選考されるが、その派遣人数はWAが定めるエントリー数の上限の枠を保証するものではない。
- (2) 代表選手は本連盟が定める義務を遵守するものとする。
- (3) 下記の項目に該当する場合は、代表を取消すことがある。
 - 1) アンチ・ドーピング規則に反した場合
 - 2) 故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合
 - 3) 本連盟が定める義務を遵守しない場合
- (4) 選考後のトレーニング状況の報告により、医事委員会がメディカルチェックの必要があると判断した場合は、応じる義務を有する。
- (5) 天災、その他の理由で選考競技会が中止になった場合は、代替の選考競技会を設定する場合がある。
- (6) 本大会は、2022年3月27日(日)に揚州(中国)で開催される。